

02.世界遺産スプリングブック国立公園



ゴールドコーストから約1時間、西に向かった先に大自然は広がっていた。

まず、最初に驚いたのは蝉の鳴き声である。360度から聞こえてくるその鳴き声は、どこから聞こえるのか分からないほどの大合唱で、人の声を掻き消すほどの音量であった。近くの木を見てみるとあちこちの木々に蝉の抜け殻がくっついていて、異様な光景である。大自然の森は約37万ヘクタールもあり、森の奥に行くと岩壁を切り崩したような崖と滝の景色が望めた。ここでは滝を上から見たのだが、プチハイキングコースでは、その滝壺の裏側を通り、岩の岩壁の割れ目をくぐりぬける等、自然を十分に感じ取れた。途中で、野鳥の群れと遭遇し、餌を手の平に置くとすぐに近寄ってきて、初めての体験ができた。

冷帯雨林の付近に行くとだんだんと涼しくなり、周りの植物もみずみずしい表層をしていた。樹齢2000年の南極ブナの木は荘厳な雰囲気をしており自然の躍動が今にも伝わってくるようであった。

冷帯雨林を抜けると、ベストオブオール展望台に出て、世界第2位の南半球最大のカルデラを見渡せ十分満喫できた。

石川厚志